

CASBEE-建築(新築)2014年版
飛灰脱塩設備建屋■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.9
Q1 室内環境			0.30	-	-	3.4
1 音環境		3.2	0.15	-	-	3.2
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
1.3 吸音	床仕上材:カーペット、天井仕上材:岩綿吸音材を7割以上使用	4.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		3.1	0.35	-	-	3.1
2.1 室温制御		3.3	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能		3.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性	ゾーン別(事務室・会議室)に冷房・暖房の選択が可能	4.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.3	0.25	-	-	3.3
3.1 昼光利用		3.6	0.30	-	-	
1 昼光率	事務室面積85㎡、窓3か所、昼光率2.15%	4.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	-	-	
3.3 照度	事務室・会議室エリア 700lx	4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		4.0	0.25	-	-	4.0
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	建築材料は、全てF☆☆☆☆を使用している	4.0	1.00	-	-	
2 放射線対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.3	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能	2.84㎡(居室面積×1/30)＜換気有効開口面積4.19㎡	4.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御	建屋内は禁煙となっている(喫煙スペースなし)	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2
1 機能性		3.0	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	事務室の天井高を2.7mとし、窓を設置している	4.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33	-	-	
3 内装計画		3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	トイレは、水拭き清掃を考慮し、長尺塩ビシートとしている	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	トイレ清掃用の流しを設置し、また、廊下清掃用に電源を設置	4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理対策		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30	-	-	2.7
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.2	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		1.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		1.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				4.1	0.30		-	4.1
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30		-	
1 階高のゆとり				5.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり				5.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性				3.2	0.40		-	
1 空調配管の更新性				4.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.40	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制					-		-	-
2 自然エネルギー利用				3.0	0.13		-	3.0
3 設備システムの高効率化				BEI 非住宅 0.90 住宅(専有部) -	4.0	0.63		4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)				建物的一次消費エネルギー BEIm0.9	4.0	1.00		
集合住宅の評価(3c)								
4 効率的運用				3.0	0.25		-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50		-	
集合住宅の評価								
4.1 モニタリング								
4.2 運用管理体制								
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護				3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水				4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.60		-	3.1
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70		-	
1 消火剤				-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50		-	
3 冷媒				3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮				3.2	0.33		-	3.2
2 地域環境への配慮				2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.3	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減				-	-		-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33		-	
3 交通負荷抑制				4.0	0.33		-	
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1 騒音				3.0	1.00		-	
2 振動				-	-		-	
3 悪臭				-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40		-	
1 風害の抑制				3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制				3.0	-		-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策				5.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30		-	